

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

【教育課程の編成・実施の方針】

(1) 教育課程の編成

教育学科は、「初等教育（幼保コース・小幼コース・小特コース）」および「中等教育（社会科コース・英語科コース）」の5コースで構成しています。各専攻では、それぞれの専門性を基盤とした実践力を有する保育士や幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭のほか、中等教育専攻では、社会教育関連の従事者養成を目指しています。

社会福祉学科は、総合福祉コースで実習やボランティア活動、フィールドワークなどの実践に取り組むことを通して、それぞれの専門性を基盤とした実践力のある保育士・高等学校教諭（福祉）の養成を目指しています。

福祉心理学科は、人の心や行動を科学的に検証し、理解する力に加え、心理学的な知識を備えた実践力のある養護教諭の養成を目指しています。

各学科における実践力育成のために、附属の研究施設等と連携し、さらに福祉系科目や心理学系科目などを幅広く学び、乳幼児・児童・生徒を様々な面から支援する方法を総合的に理解できるような教育課程を編成しています。

(2) 学修方法・学修過程

教育課程の授業科目は、幅広い教養を身に付けることを目的とした「総合基礎教育課程」と高い専門性とキャリアアップをめざす「専門教育課程」の2つで構成しています。

① 初年次教育

リエゾンゼミにおいて、レポートやプレゼンテーション作成、ディスカッションの方法等「学びの基本」について学びます。

② 専門教育

高い専門性を支える基礎・基本を学び、アクティブ・ラーニングや共同学習を取り入れながら「専門性の充実」を目指します。

③ 特別支援教育の充実

特別な支援を必要とする子どもたちに対応できるように、全ての学生に特別支援教育に関する科目を必修化します。具体的な指導については、特別支援学校や児童福祉施設などでの実践に学びながら、学習支援や家庭支援等についての理解を深めます。

④ キャリア教育

「行学一如」の理念を具現化するために、学生間、学生と教員、学生と学校とのリエゾンを重視します。特に学生が学校現場を直接体験する「教育実践活動」を1年次から行い、

併せて保育施設や学校，社会教育施設，病院等での実習や教育実践活動，仙台市教育委員会をはじめとする自治体と連携したリエゾン型キャリア教育を通し，「実践的指導力の向上」を目指します。また，様々な講義・演習時の実技・実験・調査等により省察力や課題解決能力を育成し，「専門性」と「実践力」の融合を図ります。

⑤ 学生への支援

- a 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭（社会、英語）・高等学校教諭（地理歴史・公民・英語・福祉），特別支援学校教諭（聴覚・知的・肢体不自由・病弱）などの資格・免許取得のためのサポートを行います。
- b 保育士・教員としての生涯を見据えたキャリア教育を進めます。その一環として，教育実践活動や保育・教育現場でのボランティア活動の支援を行います。また，教育の現場での実践に邁進する卒業生らが集い、各々がかかえる日々の悩みを話し合い、現状を共有するとともに、あらたな研修の機会となる「教育フォーラム」を行います。

⑥ 学修成果の評価の在り方

学修の展開や蓄積の可視化を図る為に，ルーブリックや学修ポートフォリオを活用しながら，教育課程の改善に生かします。